

大正・十和地域以外から、このホームページにアクセスいただきました皆様、誠にありがとうございます。

本校の所在する四万十町は、高知県の中西部、四万十川の中流域にあり、北は愛媛県に接し、淡路島より広い面積の中に約1万8千人の人々が生活しています。この四万十町は、平成18年に高岡郡の窪川町（くぼかわ）と幡多郡（はた）の大正町（たいしょう）・十和村（とおわ）が合併して誕生しました。

本校は合併した3つの町村の中ほどに位置する旧大正町にあり、四万十川とその最大の支流である梶原川（ゆすはら）との合流点の田野々（たのの）地区の小高い丘の上に位置しています。周りをすべて緑の山々に囲まれ、その森と川が生徒達の主なフィールドです。本校の第一の特色である自然環境コースだけでなく普通科も含めて、高知県外にお住まいの方も一定の条件・手続きを経て受験ができます。

自然環境コースの生徒たちは、四万十川の周辺のフィールドはもちろんのこと、様々な自然豊かな地域へ出かけ、体験や経験を通して勉強し、それをいろいろな機会に発表・プレゼンテーションしています。この自然環境コースには各種の学校設定科目があり、3年生になると卒業研究（大学の卒業論文のようなもの）を行います。この卒業研究に向けて1年生から2年生にかけて様々な体験活動を準備しています。

土佐海援丸（かいえんまる）という高知県の実習船で屋久島に行き、ユネスコ自然遺産に登録されている屋久杉自生林や西部林道付近の森林で登山・観察したり、魚種の豊富なことで知られる大月町（おおつき）の柏島（かしわじま）でシュノーケリングをして海の環境を学んだり、ブナの原生林があり四万十川支流で一番清流度の高い「黒尊川」の上流域でサバイバル的な宿泊研修を行うなど、日本で一番幅広く体験を通して自然を学んでいる学校だと思います。

本校の教育目標は「自分で考えて行動できる生徒を育成する」ことです。部活動、生徒会だけではなく自主活動チームがたくさんあります。生徒達は、ほかの学校の高校生と同様に部活動や生徒会活動、学校行事などに主体的に取り組むことと併せて、環境問題や地域の活性化に自分たちで取り組んでいます。代表的なチームは「WZF」（若武者絶対増やす実行委員会）、「結（ゆい）の森 妖精チーム」、「四万十川を守り隊」などです。

自然環境コースのくわしいことや学校教育方針について、ぜひ、ホームページで続けてもらってください。

追伸 夏季休業中には、体験入学を行う予定です。また、後日、このホームページをお開きください。